

琉球新報
小中学生新聞
第639号
毎週日曜日発行

りゅうPON!



そこが知りたい! なるほどうちな〜ニュース

日本復帰から51年 暮らし一変、問題残ったまま



論説委員長の小那覇さんの案内で、与儀公園を訪ねたりゅうちゃん=2023年4月21日那覇市民会館で行われた沖縄復帰記念式典であいさつをする屋良朝苗県知事(右)式典が行われた会場の外で復帰に抗議する人々=1972年5月15日、那覇市の与儀公園

ニュースを分かりやすく紹介する「そこが知りたい! なるほどうちな〜ニュース」。今回のテーマは「日本復帰」です。5月15日は、沖縄が日本に復帰してから51年に当たります。沖縄は悲惨な沖

縄戦の後、アメリカが沖縄を統治する“アメリカ世”が27年間続きました。現実の復帰も、住民が望んだものとはほど遠いものだったと言います。琉球新報のマスコットキャラクター・りゅうちゃん

が、琉球新報の小那覇安剛論説委員長に解説してもらいながら、復帰に関連する場所を2カ所訪ねました。まずは那覇市にある与儀公園からスタートします。

(2面に続く)

基地の苦悩抱えて生きる

雨のお散歩もおつたりゅう。ところで、小那覇さん、復帰と与儀公園ってどんな関係がありゆの？ 詳しく教えて。

うん、51年前の5月15日、復帰を祝う式典が与儀公園の隣的那覇市民会館で開かれたんだ。会場の外では抗議集会があったよ。

賛成と反対の人が同時に集まった場所なんだね。どうしてそんな風に意見が分かれたの。

少し、沖縄の歴史をさかのぼるよ。まず、1945年の沖縄戦で、沖縄は米軍に強制的に土地を奪われ、広大な基地が造られたんだ。日本は敗戦で国としての主権(自分たちの意思で国のあり方を決める権利)を失ったんだけど、52年4月のサンフランシスコ講和条約発効で主権を回復した。ところが、沖縄は日本から切り離されて米国の施

政権(政治や裁判、行政をする権利)下に置かれたんだ。米軍による事件事故が起こっても、犯人が無罪になるなど沖縄の住民の人権は踏みにじられていた。沖縄の人々はこれに反発し、基本的人権の尊重や恒久平和をうたう日本国憲法の下への復帰を目指したんだよ。

じゃあ、復帰できたのになんで抗議したの？

実際は米軍基地が残ったまま、つまりは問題を積み残したまま復帰を迎えてしまったんだ。これが本当に自分たちの求めた復帰の姿だったのか、という憤りが抗議集会へとつながったんだよ。式典であいさつした屋良朝苗知事も「必ずしも私どもの切なる願望が入れられたとは言えない」と語ったんだ。りゅうちゃん、別に紹介したい場所があるから、ちょっと移動しようか。



復帰の日に除幕された石碑の前に立つ小那覇さんとりゅうちゃん



主席公選と自治権を獲得しようと立法院前で行われた県民大会＝1964年(県公文書館所蔵)

占領の象徴・USCAR

小那覇さん、ここは県庁だよ？

うん、この石碑は復帰の日(1972年5月15日)に除幕したんだ。復帰前は沖縄の行政機関・琉球政府があった場所だよ。同じ建物には琉球列島米国民政府(USCAR)があってね、「アメリカによる沖縄占領の象徴」とも言われていたんだ。沖縄の人たちは1968年まで、県知事に当たる行政主席を選挙で選ぶことすらできなかった。

自分たちの代表を選べないなんて…。当時の人たちは、ひどい扱いをたくさん受けてきたんだね。

沖縄の厳しさは今も続いているんだよ。全国では米軍専用施設・区域の整理・縮小が進んだけど、沖縄では2021年時点でも全国の70.3%が集中している状況だ。過重な基地負担を沖縄県民の7割が「差別的な状況だ」と感じているけれど、それが日本国民全体の声になっていないんだ。復帰51年を迎えても、沖縄の人たちは平和憲法のありがたみを実感していないんだよ。

復帰前は憲法に守られなかった。復帰後も憲法に守られていない…。でも、その平和憲法を

日本は今変えようとしていりゅうちゃんね？

「憲法の素案を作ったのはアメリカで、押しつけた」という批判があるけれど、悲惨な戦争を繰り返してはならないと多くの国民が願い、平和憲法を受け入れたんだ。多くの人が亡くなった戦争を否定する憲法を大切にしたいんだよ。5月3日は「憲法記念日」だね。憲法のこと考えてみよう。

基地問題で苦しむ沖縄。どうすればいいんだろう。

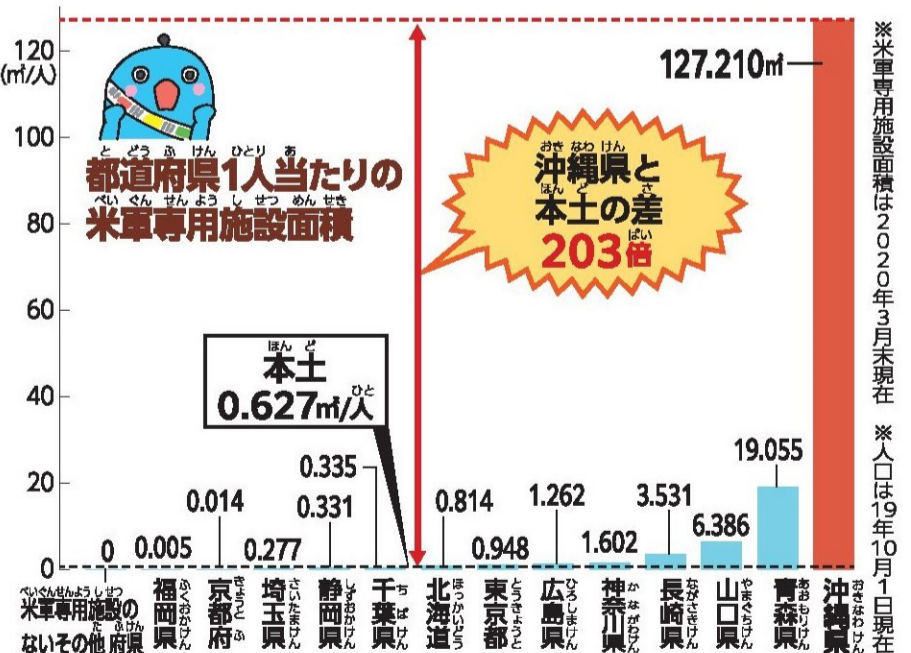
少なくとも、沖縄の基地の問題は沖縄県民だけの問題じゃないし、国民みんなで考えないといけないよね。政治の場でもっと議論してほしいね。

政治家はもっと真剣に沖縄のことを考えてほしいりゅうちゃん！でも議論することや考えることは、僕たちだってできるよね。

そう。そして、沖縄に基地が置かれたことになった根本原因である沖縄戦についても知ってほしいんだ。それに、沖縄戦で負った傷跡はまだ、沖縄の至る所に残っている。78年前の戦争の歴史を知り、傷がどういうものなのか知ることとても大切だよ。

戦後、日本復帰までの歩み

1945年 6月22日	沖縄戦で日本軍の組織的抵抗が終る(23日説も)	
1952年 4月28日	サンフランシスコ講和条約の発効。沖縄が日本から分離(「屈辱の日」)	
1959年 6月30日	石川市(現うるま市)の宮森小に米軍ジェット機墜落	
1960年 4月28日	沖縄県祖国復帰協議会の結成	
1965年 8月19日	佐藤栄作首相が初来沖。「沖縄の祖国復帰が実現しない限り、わが国にとって戦後は終わっていない」と声明。	
1968年 11月10日	初の公選主席選挙で屋良朝苗さんが当選	
1968年 11月18日	米軍嘉手納基地でB52戦略爆撃機が離陸に失敗し墜落、炎上	
1969年 11月21日	佐藤首相とニクソン米大統領がホワイトハウスで首脳会談。1972年沖縄施政権返還、「核抜き本土並み」で合意	
1970年 12月20日	コザ市(現沖縄市)でコザ騒動が起こる	
1972年 5月15日	沖縄が日本に復帰	



米軍構成員等による犯罪検挙件数

※沖縄の本土復帰1972年から2021年末まで

犯罪種別	件数
凶悪犯	584
粗暴犯	1,094
窃盗犯	3,020
知能犯	257
風俗犯	78
その他	1,076
合計	6,109

出典：沖縄県基地対策課/辺野古新基地建設問題対策課
紙面制作：新垣梨沙、上原明子、上里あやめ